

ていたことを考えれば大きく方向転換し公共交通政策の前進になったと高く評価いたします。そこには、一部公設民営方式が導入されたことが大きいと考えます。事業者頼みの公共交通から本市の関わりを強くすることで今後の公共交通への関わり方や取組について市長の御所見をお伺いいたします。

イ、次に、路線の再編について質問します。

このたび10方面の路線再編を提示されましたが、この10路線は市内における最適解な再編案なのでしょう。その路線再編の方針と根拠についてお伺いいたします。

ウ、利便増進実施計画案が9つの事業者の同意を得たことは、10案全て再編を実施できることと理解してよいのでしょうか。国の認定を受けた後の準備はどのようなところから進めていかれるのか、御説明をください。

エ、準備が整った路線から運行を開始する方針です。早ければ令和7年度中旬より妹尾方面、庭瀬方面、拠点をつなぐ支線新設の3路線が実施予定です。比較的準備課題が少ないのでしょうか、それぞれどのような準備を進めていけば実施に至るのでしょうか。御説明をお願いいたします。

オ、次は、具体的に2路線についてお伺いいたします。

一宮方面の再編ですが、現状は減便や廃止路線が進み公共交通の負のスパイラルが続いています。現在は幹線としてリサーチパーク、リハビリテーション行き、佐山団地、大窪、一宮東を運行する2系統の路線です。ここは再編のパターンの①幹線、支線への系統分割、車両小型化、2、鉄道との連携の再編を目指しています。利便増進ポイントの準備の課題についてお伺いいたします。また、どのくらい需要があるのでしょうか、お伺いいたします。

カ、もう一つが庭瀬方面の再編についてお伺いいたします。

JR庭瀬駅のロータリーが整備され、鉄道との連携での再編を進めようとしています。同様に、利便増進ポイントと準備の課題はどのようなことでしょうか。また、庭瀬撫川方面への支線を回遊させていないの

は、どのような理由があるのでしょうか。

キ、ICカードシステムの利便性向上と運営効率化としてHarecaシステムのアップグレードを行うとしていますが、具体的にはどのようなアップグレードを進めるのでしょうか。また、令和8年度までの事業となっていますが、なぜ令和8年度までかかるのでしょうか。

ク、分かりやすい運行情報の提供としては、路線の見える化GTF S対応、デジタルサイネージを活用すると利用者の利便性がどのように上がるのでしょうか。御説明をください。

ケ、今後の検討課題として隣接市との連携、分かりやすい運賃体系の構築が検討されていると思いますが、どのように進めていくのか、方向性について御所見をお伺いいたします。

2、最後に、JR桃太郎線のLRT化がこの時期にJR西日本と協議されますが、今後の方向について協議はされているのでしょうか。御所見をお伺いいたします。

続いて2番、北長瀬駅北土地区画整理事業についてお伺いいたします。

本市では平成9年に日吉町、北長瀬本町地区の地区区画整理基本計画の策定に着手し、平成16年には日吉町と北長瀬本町の一部の特定保留地区に指定し市施行で区画整理事業を進めようとしてきましたが、大型商業施設の誘致に伴う組合施行での区画整理事業を望む案が出たため区画整理事業の協議が進んでいませんでした。また、その後は新型コロナウイルス感染症の蔓延で協議が止まっていましたが、一昨年の秋から地元協議を住民や地権者の方々と再開してきています。

1、まずは、北長瀬駅北地区土地区画整理事業に関する地元協議はどのように進めてきているのでしょうか。当局の御所見をお伺いいたします。

2、北長瀬本町では当初の事業案から20年以上が経過しており、北長瀬本町では住宅が新たに建設され区画整理事業を当初の計画地区での事業推進は難しくなっているのではないのでしょうか。御所見をお伺いいたします。

3、現在の協議の中で組合施行での事業実施を検討